

地域情報

(露地野菜土づくり・根こぶ病防除対策研修会の開催)

(一社) 熊本県野菜振興協会八代支部

八代地域では、キャベツ・レタス・ブロッコリー・オクラ等を中心とした露地野菜の産地化が進んでおり、県内の主要な産地となっています。

近年は、ブロッコリー・オクラ等の面積が特に拡大しています。

露地野菜においては、ほ場の排水不良や、連作による根こぶ病の発生が生産の不安定要因となっています。

そこで、露地野菜の生産安定に向けて、8月6日に八代市千丁公民館で農業技術支援室から講師を迎え、「露地野菜土づくり・根こぶ病防除対策研修会」を開催しました。

研修会には、管内の新規就農者を中心に露地野菜生産者等55名が出席しました。

まず、戸田主幹からアブラナ科野菜における根こぶ病の生態や発病要因、総合的な防除方法について説明がありました。

つぎに、松森主幹から平坦地～沿岸地域の水田土壌における露地野菜の土づくりについて、排水対策を中心に現地事例も交えながら説明がありました。

生産者からは、施肥方法や根こぶ病防除対策に関する質問もあり、有意義な研修会となりました。

今後も、八代支部では、耕種基準の作成や展示ほの設置等露地野菜の生産安定に向けた支援を行う予定です。



研修会風景